

授業科目	地域・在宅療養を支える看護Ⅱ	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	2年次前期	1単位	講義	15時間
到達目標	1. 地域で暮らす療養者と家族の生活に応じて、基礎看護技術を応用し創意工夫のある生活ケア援助技術を学ぶ。					講師
	2. 在宅における援助技術の実際を体験し臨場感を味わうことで、地域で暮らす療養者と家族への配慮ある支援の必要性に気付く。					専任教員
授業計画						
1回	1. 暮らしの場で行われる生活ケアとは 2. 生活ケア援助技術の指導計画・実施についてのブリーフィング ①学習目標・演習課題 ②進め方 ③グループ編成等 ・生活ケア援助技術5項目のうち1項目を5グループで選択 ・各5項目に共通の短文事例提示 3. 生活ケア援助技術の指導計画① グループワーク					
2回	生活ケア援助技術の指導計画① グループワーク					
3回	生活ケア援助技術指導の実際① 在宅での排泄技術 全体デブリーフィング 確認テスト					
4回	生活ケア援助技術指導の実際② 在宅での入浴技術 全体デブリーフィング 確認テスト					
5回	生活ケア援助技術指導の実際③ 在宅での移動技術 全体デブリーフィング 確認テスト					
6回	生活ケア援助技術指導の実際④ 在宅でのリハビリテーション 全体デブリーフィング 確認テスト					
7回	生活ケア援助技術指導の実際⑤ 在宅での介護用具の工夫 全体デブリーフィング 確認テスト					
8回	まとめ					
評価方法	選択肢問題又は論述問題による筆記試験(50%)、指導計画案・実施内容(30%)、レポート(20%)を総合して評価する					
教科書	系統別看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 医学書院 系統別看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 医学書院					
参考書	ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術					
備考	1.共通基本技術ⅠⅡ、生活援助技術ⅠⅡⅢの講義および演習内容の復習をすること。 2.事前・事後課題を教科書・講義内容・配布資料より予習・復習をすること。 3.個人・グループワークでの課題学習に取り組み、発表準備に備えること。					